

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



経験からの学びと収穫

岩手県花巻市生涯学習部生涯学習課国際交流室 高山 くみ子

はじめに

「ニューヨークに行きたいか!!」と小さな声で人事担当から派遣を告げられたあの日の衝撃。海外といえば旅行程度で、語学とは無縁の私は、岩手県以外に住んだこともなく東京・海外での生活など想像もしていませんでした。

多文化共生って?

東京本部では多文化共生課に所属しました。国際関係の部署の経験がなく、耳慣れない「多文化共生」という言葉。この言葉の意味を知り、知識を深めることから私の業務はスタートしました。その後、JIAM（全国市町村国際文化研修所）での研修や東京本部で主催した会議を通して、全国各地で活躍する多文化共生マネージャーと関わりながら得た多文化共生の知識は、現在の業務に大きく役立っています。2022年度には花巻市初めての多文化共生推進プランを策定し、事業を展開しています。



多文化共生に関する講演会を初めて市内で開催

海外での経験

ニューヨーク事務所では、「フェロウシッププログラム（海外自治体幹部交流協力セミナー）」の25周年を祝うイベントを担当しました。あまりの重責に心が折れそうになりましたが、北米でのイベントを主催できる機会など今後絶対ないとプラスに捉え、事務所の上司や同僚、シニア調査員と綿密な相談を重ね、想像力をフル稼働させて臨みました。その結果、多くの参加者がプログラムを懐かしんでいる姿を見ることができ、さらにはイベントへの参加が叶わなかった過去のプログラム参加者からメッセージや花束を頂戴するなど、クリアと北米関

係団体との関係性の強さを改めて感じる機会となりました。また、派遣元の姉妹都市における活動支援にも携わることができ、そこで培った人脈は現在も姉妹都市交流に役立っています。

帰国後の今思うこと

相談を怠らないこと・想像力を最大限に働かせて業務調整を行うこと・臨機応変に行動すること、この3つを実行できたことが、クリアでの業務を無事に終え、達成感を味わうことができた理由の一つだと思っています。帰国後も、この3つの軸を肝に銘じて業務にあたっています。



元 JET 参加者の会主催の送別会（同期全員にプレゼントされた書き付きの T シャツを着て）

そして、クリアへの派遣で何よりの大きな収穫は、全国各地の同期たちです。派遣前の不安を忘れ、公私ともに充実した経験を積むことができたのは、彼らとのつながりと支えがあったからだと確信しています。バックグラウンドも経験年数も異なる同期が全国から集まり、それぞれ積み重ねてきた経験を共有できたことは素晴らしい財産で、今でも貴重な糧となっています。帰国して数年経った今でも、何かあったら相談しあったり、時には遠路はるばる岩手県に遊びに来てもらったり。クリアに派遣されていなかったら出会えなかった仲間を得られたことが一番の喜びで、派遣元の花巻市役所、そしてこの貴重な機会をくれたクリアに感謝でいっぱいです。

プロフィール・ほか

- クリア在籍時の所属：
2017年4月～2018年3月 多文化共生部多文化共生課
2018年4月～2020年3月 ニューヨーク事務所